



日本体育・スポーツ経営学会 第46回研究集会



大阪教育大学附属高等学校平野校舎 家庭・地域・学校における暴力根絶に関する研修会

2013年12月21日(土)13時～

## 「子どもが育つ環境づくり」を考える！

### 〔開催趣旨〕

多くの子どもたちが幼い頃からスポーツに取り組んでいる。小さな身体でダブダブのユニホームを着て必死に頑張っている姿は微笑ましいものである。親たちもいろんなことをサポートし、熱心に応援している。しかし、そうした光景の中には時折、指導者からの激しい怒声や罵声が響き渡ったりしている。そうした光景を多くの人たちが目にしたとき、この練習方法、この指導法で子どもたちは自由に活動し、心身ともに伸びていくのだろうか、子どもたちがスポーツをするのは何のためだろうか、という疑問さえ持ちたくなるほどである。いうなれば、「大人の自己満足」を子どもたちに押し付けているだけではないかということである。



ご遺族の方々には哀悼の意を表すが、大阪市立桜宮高等学校のバスケットボール部で起きた「体罰・自殺」問題は、指導者によるこうした怒声や罵声がエスカレートした「暴力」ないしは「虐待」行為が大きな原因であることは言うまでもない。ある団体競技の日本代表経験者によると、「見せしめ」によって恐怖を植え付けて子どもたちを追い込むような指導は一定の効果があるが、本物の競技力が身につくはずはなく、自主性をはじめ失うものは限りなく大きいと指摘している（毎日新聞「社説」2013年1月27日付朝刊）。心身ともに成長過程にある子どもたちが失敗するのは当たり前と考えるべきであり、練習でできない事や試合でのミスは決して「罪」ではないはずである。文部科学省は、学校部活動におけるこうした「体罰」問題を重く受け止めた上で「運動部活動の在り方に関する調査研究協力者会議」を設置し、平成25年5月27日には「運動部活動での指導のガイドライン」を含む調査研究報告書を公表した。例えば、ガイドラインでは「無意味な正座や直立」を許されない指導例として挙げているが、それでは、「意味があれば許されるのか」「その意味とは何なのか」「このガイドライン通りに部活動経営をやれば上手くいくのか」等々、指導者の力量のなさを暴露しているようなものであり、こうしたことを議論すること自体が滑稽である。

本来、スポーツというものは、男性優位の文化として始まり、荒々しさを伴い、流血も珍しくはないということは、スポーツの歴史が物語っている。しかしながら、歴史社会学者のノベルト・エリアスは、18～19世紀の英国においてスポーツが発生する過程と議会制度の成立過程には相関関係があり、武力を否定して議論で物事を決める議会制度の発展とともに、野蛮な身体闘争は「非暴力化」のルールを整えることによって「近代スポーツ」としての社会的地位を確立したと指摘している。一時の感情に駆られ、自己抑制できない指導者による子どもたちへの暴力が「スポーツと文明化の過程」に逆行していることを、今こそ再認識するべきときである。

こうしたスポーツを好きな子どもたちが自主的に集まり自由に活動しながら、暴力ではなく、ルールに従い相手を尊重するという民主主義の基本を学べる「スポーツ活動の場や機会」などを子どもたちが育つ環境条件の一つとして保障していくには、どのような「子どもスポーツ経営」が必要なのだろうか。本研究集会では、子どもスポーツ経営の（実践）現場目線から、子どもが育つ環境づくりを考えるとともに、勝敗、順位、記録などの競争原理に支配されがちな「子どもスポーツ」それ自体のあり方について見直していきたい。

[日 時] 平成 25 年 12 月 21 日 (土) 13:00~17:00  
(12:30より受付開始)

[場 所] 大阪教育大学附属高等学校平野校舎 <http://www.hirano-h.oku.ed.jp/>  
〒547-0032 大阪市平野区流町 2-1-24  
大阪市営地下鉄谷町線「平野駅」下車5番出口から東南約 400 メートル,  
JR 大和路線「平野駅」下車南約 1400 メートル  
※ 駐車場はございませんので、お車でのお越しはご遠慮ください。

[定 員] 150 名

[主 催] 日本体育・スポーツ経営学会／大阪教育大学附属高等学校平野校舎・PTA

[参加費] (資料代を含む) 正会員：1,500円 学生会員：1,000円  
一般(社会人)：2,000円 一般(学生)：1,500円  
※ 大阪教育大学附属高等学校関係者は、参加費無料となります。

#### [参加申し込み方法・お問い合わせ先]

参加申込書を下記のお問い合わせ先にお送りいただくか、メール、電話、FAXのいずれかの方法で、①氏名、②ご所属、③ご連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)をお知らせください。

<お問い合わせ先>

〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1  
立命館大学産業社会学部 中西純司研究室(尚学館4階866号室)  
TEL: 075-466-3429 FAX: 075-465-8249 (共同研究室)  
E-mail: junjin@fc.ritsumeai.ac.jp

### 【プログラム】

- 12:30~ 受付開始
- 13:00~13:10 趣旨説明
- 13:10~14:40 第Ⅰ部 基調講演「子どもが育つ環境をどう創るか？」  
◆ 柳本 晶一  
(前バレーボール全日本女子チーム監督／桜宮高校学校改革担当)
- 14:50~16:50 第Ⅱ部 パネルディスカッション「スポーツは子どもが育つ環境を創れるか」  
★コーディネーター：中西 純司  
(立命館大学、日本体育・スポーツ経営学会理事)
- 保護者の立場から：吉田真由美  
(大阪教育大学附属高等学校平野校舎 PTA)
- 少年団の立場から：河野 邦夫 (大阪府スポーツ少年団本部長)
- 学校部活動の立場から：松田 雅彦  
(大阪教育大学附属高等学校平野校舎教諭)
- 総合型クラブの立場から：遠藤 浩也 (錦綾健康づくりクラブ 事務局)
- 16:50~17:00 閉会挨拶